

演奏会 & レクチャー
 ピアノを歌わせるために
 ～楽器に向かう心技体～



赤松 林太郎 (あかまつ・りんたろう) PROFILE

世界的音楽評論家ヨアヒム・カイザーにドイツ国営第2テレビにて「聡明かつ才能がある」と評された2000年のクララ・シューマン国際ピアノコンクール受賞から20年。神戸大学を卒業後、パリ・エコール・ノルマル音楽院にてピアノ・室内楽共に高等演奏家課程ディプロムを審査員満場一致で取得(室内楽は全審査員満点による)、国際コンクールでの受賞は10以上に及ぶ。

1978年大分に生まれ、2歳よりピアノとヴァイオリンを、6歳よりチェロを始める。幼少より活動を始め、5歳の時に小曾根実氏や芥川也寸志氏の進行でテレビ出演。10歳の時には自作カデンツァでモーツァルトの協奏曲を演奏。1990年全日本学生音楽コンクールで優勝して以来、国内の主要なコンクールで優勝を重ねる。ピアノを熊谷玲子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、フランス・クリダ、ジャン・ミコー、ジョルジュ・ナードル、ゾルターン・コチシュ、室内楽をニーナ・パタルチェツ、クリスチャン・イヴァルディの各氏に師事。

国内各地の主要ホールはもとより、アメリカ、ロシア、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、オーストリア、ハンガリー、ポーランド、台湾、コロンビアを公演で回る一方で、2016年よりハンガリーのダヌビア・タレント国際音楽コンクールの審査員長を歴任しており、今日ではヨーロッパ各地で音楽祭のみならず、国際コンクールやマスタークラスにも多数招聘されている。

これまでに新田ユリ、手塚幸紀、堤俊作、西本智実、山下一史、デアーク・アンドラーシュの指揮のもと、東京交響楽団やロイヤルメトロポリタンオーケストラ、ロイヤルチェンバーオーケストラ、ドナウ交響楽団などと共演。キングインターナショナルから《ふたりのドメニコ》《ピアノの天使》《そして鐘は鳴る》《インヴェンションへのオマージュ》《ブルクミュラー 25&18の練習曲》《わたしを泣かせてください》をリリース。新聞や雑誌への執筆も多く、著書に『赤松林太郎 虹のように』（道和書院）、『3年後、確実にクラシック・ピアノが弾ける練習法 ショパン編』（リットーミュージック）、『徹底解説 バッハ〈インヴェンション&シンフォニア〉弾き方教え方』（音楽之友社）がある。

現職は洗足学園音楽大学客員教授、大阪音楽大学特任准教授、宇都宮短期大学客員教授、ブダペスト国際ピアノマスタークラス教授、一般社団法人全日本ピアノ指導者協会評議員、カシオ計算機株式会社アンバサダー。

PROGRAM

ヘンデル (モシュコフスキ編曲) : わたしを泣かせてください

モーツァルト : 幻想曲 ニ短調 KV.397

シューベルト : 即興曲 Op.90-3

シューベルト (リスト編曲) : セレナード

シューベルト (リスト編曲) : 魔王

～ 休憩 ～

プッチーニ : 小さなワルツ

マスカーニ : 間奏曲

ピアソラ : セ・ラムール

ピアソラ (山本京子編曲) : 孤独の歲月

ピアソラ (山本京子編曲) : アディオス・ノニーノ